

高齢者が幸福に暮らす条件とは

Global Age Watch Index 2013 にみる新たな指標づくり

国連人口基金 (UNFPA) は、世界中で進行している今までにない大きな人口転換＝人口高齢化を、人類の繁栄の成果であり祝福すべきものとして、「21世紀の高齢化、祝福すべき成果と直面する課題」と題する報告書を2012年にまとめた。

この報告書では、2050年までには60歳以上人口が、世界人口の5分の1を占めるようになるが、高齢者に関するデータはまだ十分ではないこと、多くの国では高齢化に関する新たな政策や法律を導入するようになってきているが、高齢者の潜在能力を発揮するためには、依然として多くの課題が残されていること、などが明確に示された。

UNFPAは、報告書作成に当たり協力を得たHelpAge Internationalとともに、2012年の秋、国際高齢者の日にあたる10月1日を選び、世界に向けた報告書の発表を東京（国連大学-港区青山）で行った。

彼らは発表の場として日本を選んだ理由として、平均寿命の長さや高齢化率の高さという点で日本が長寿最先進国であるというだけでなく、日本は世界の手本となる国であると説明している。

当時朝日新聞の取材に応じて、UNFPAのパートナー・オシヨティメイン事務局長は、手本となるべき日本の取り組みとして、以下のような事がらを挙げている。

- 敬老の日
- 60歳を過ぎても就労が可能であり、起業に対する補助金などのサポート
- 国民すべてが加入し、その恩恵を受けられる医療保険(国民皆保険)や年金制度
- 支援が必要な人へのケアを提供する介護保険制度
- 認知症への対策を全国規模で行っており、とりわけ高齢者もその一員であるコミュニティでの認知症へのサポートを目指していること

国連全体の取り組みとしては、「高齢化に関する世界会議」として2002年にスペインのマドリードで国際的な会議が

開催された。

日本も含め世界各国から政府とNPOなど民間団体が集結し、そこで「高齢化に関するマドリード国際行動計画」が採択されている。

2012年はそれから10年の節目だが、この10年間で社会の高齢化や高齢者自身に関わる法律や制度、国家計画をまとめた国は60に至らず、世界の3分の1に過ぎないことは大きな課題だ、とオシヨティメイン事務局長は指摘している。

オシヨティメイン事務局長によれば、UNFPAの大きな使命の1つは急激な人口増加による貧困を防ぎ、持続可能な開発を可能にすることであったという。

国連と各国の努力に加えて、1994年の国際人口開発会議で採択されたリプロダクティブ・ライツと女性の人権尊重という立場からも、産む、産まないは女性が選択すべきという考えの重要性を啓発してきた結果、過去60年間で合計特殊出



■国連人口基金 (UNFPA)・HelpAge Internationalによる報告書「21世紀の高齢化：祝福すべき成果と直面する課題」(写真提供：国連人口基金)

生率は世界的には、6.0から2.5と半減した。

しかし彼は、高齢社会の到来は出生率の低下だけによるものではなく、衛生、栄養、保健、医療そして環境改善の賜物であり、それを支える経済的な発展と平和と繁栄の成果であることを認識し、世界はそれを祝福すべきとしている。

とはいえ、各国が必要な対策を講じなければさまざまな問題が噴出するのは目に見えており、制度の整った日本でさえも不断の努力が求められていると、賞賛と同時に警鐘も鳴らした。

2013年秋、HelpAge Internationalは前年報告書で取り上げた課題の克服に向けて、Global Age Watch Index 2013を世界に示した。このIndexは、高齢者自身がその社会においてどれだけ幸せであるかを測定するための明確な指標づくりの第一歩と位置づけられ、世界に向けてインターネットを通じた意見募集が行われた。

彼らによれば、政策立案者にとって役立つ指数は多いが、高齢者とその社会の幸せを、国がどれだけ有効に支えているかを測定する指数はない、としている。

新たな試みによるこの指数では、国際的に比較可能な幾つかのデータをまとめ、大きく4つのカテゴリーから、国ごとの成功や進展具合と、その対応への方向性を見て取ることができるという。

同時にデータが不足している国では、公共政策の対象から高齢者が排除されていることが浮き彫りになってくる。

また今回の発表に際しては、データ入手が可能な91か国を指数ランキングで表したが、今後は対象国の拡大、指数のモニタリングなどを着実にを行い、この指数の世界的な定着を図っていきたいとしている。

■ 日本は世界10位

Global Age Watch Index 2013のサマリーに掲載されたランキングとその解説は次ページ以降で紹介している。ごく簡単な解説しか加えられていないため、詳細を見るにはもう少し丁寧に分析を行う必要があるが、日本の世界ランキングは10位である。

所得保障分野が27位と予想外に低いような気もするが、これは高齢の生活保護受給者の増加による貧困率上昇の反映と、不動産や貯蓄などをカウントしないフローだけの収入比較では、日本では高齢女性の所得が低いことによるものであろう。

また世界トップレベルの平均寿命と健康寿命をもちながら、健康でのランクが5位なものも不思議な気がする。これは「生きがい」などを尋ねる意識調査の結果が、低かったことによるものであった。

高齢者を対象としたメディケア制度はあるものの、基本的には民間保険制度によるアメリカの全体順位が、総合で日本より高くなっているのは、高齢者雇用差別禁止法を持っているため、雇用部分が堂々の2位となっていることによるものである。

このように見てくると、細かな点ではさまざまな齟齬をきたしていたり、実感とそぐわない部分があったりもするが、このような取り組みが進むことにより、高齢者が幸福である社会をつくるための政策や仕組みへの関心が高まり、整備への取り組みが進むことは、非常に重要である。

高齢者の幸福を考える時に、日本では比較指数に取り上げられている「働き続けられること」や、「自己決定できる自由」などに比べると、手厚い介護など福祉分野の整備と質の向上が、とりわけ強く意識されてきた。

しかしこの指標づくりがめざす高齢者の幸福のグローバルスタンダードは、「ある程度の収入と健康な心身を持ち、当事者として社会との関わりを持ちながら、自分で自分の人生を決めてゆくことのできる人」と定義することができよう。

誰かに依存するのではなく、自分で決めて自身の人生を切り開いてゆける力を持つことが、幸せな高齢者の大切な要素といえる。

まさにILC創設者の故ロバート・バトラー博士が、その生涯を通じて訴え続けた「Productive Aging—長寿の価値は、その長さにあるのではなく、それをどのように活用するかにある」に尽きるのではないだろうか。

Global Age Watch Index 2013 Summary

抜粋

(翻訳・文責-ILC-Japan)

ランキングと解説

文中()内の数字は全体の順位

世界ランキングでは高齢者が幸せなのは、北欧・北米・東アジアとラテンアメリカの一部の国であることが示されている。

トップのスウェーデンでは、所得保障・健康・雇用と教育・支える環境すべての指数が10位までに入っている。

全体のトップ10には北欧3か国、西欧3か国、北米2か国、アジア太平洋が2か国(日本10位)含まれており、主な西欧の国々も20位までには顔を出している。

しかしアフリカや東アジア諸国の多く、パキスタン(89)やアフガニスタン(91)など低所得の中東国家では、高齢者の状況があまり良くないことが分かる。

しかし、例外もある。

低所得の国でも、富のレベルに関わらず高齢化に対応する政策に投資してきた国があり、その結果が有効に機能していることが示されている。例えばスリランカ(36)は長期的に教育や保健に投資してきたし、ボリビア(46)のように世界最貧国の1つであるにもかかわらず、高齢者

向けの無料医療、無拠出性の皆年金などを含んだ高齢化国家計画が既に存在している国もある。

また、歴史的に先取りした社会政策を行ってきた国に住む人々は、高齢期になっても健康であり、また社会的にもつながりを持ち、生きがいを感じているという結果が示されている。

スウェーデンは2013年が皆年金100年の記念すべき年となった。1913年にはまだ新興国に過ぎなかったスウェーデンが、皆年金という思い切った政策に投資した結果が、100年後には確実に成果をあげている。同様に1937年に皆年金制度を導入したノルウェー(2)でも、年金は高い収入の基盤になっている。

また一方で歴史の皮肉が、面白い結果を示すこともある。

アルメニア(51)では50歳以上の75%近くが、1か月1万円以内で暮らしているが、彼らの教育指数は3位と非常に高い数字になっている。これは旧ソ連時代の恩恵ということで説明がつく。現在の

高齢者は若い頃、ソビエトの非常に高い水準の教育を、一律にしかも無償で受けることができていたのである。

健康状態が良いことは中程度の所得国では、幸福の大きな要素を占めることになる。南米のコスタリカ(28)とエクアドル(32)は、どちらもその国の高齢者の健康状態の良さが、国全体のランクを上げることに役立っている。

世界全体でみると、高齢化の進んだ先進国はだいたい高いランクに位置しているが、これから高齢化の進展具合を考えた時に、南米と東欧では政策の進め方に大きな違いがあったことが分かる。

これから2050年までに高齢人口が倍増するラテンアメリカは、おおむね上位30位に入っていて、対策が行われていることが見て取れる。

しかし、ロシア(78)と東欧諸国のウクライナ(66)やモンテネグロ(83)などは、これから思い切った政策改革を進めなければならないだろう。

準備をするのに早すぎることはない。

指数について

以下の4領域について、OECD、WHO、World Bankデータなど国際的に入手可能な数字により各国の指数を示している

1. 所得保障

- 年金
- 貧困率
- 一人当たりGDPなど

2. 健康状態

- 60歳時の平均余命と健康余命
- 生きがい満足度

3. 雇用と教育

- 就労状況
- 高齢者の学歴(中等・高等教育)

4. (自立を)支える環境

- 社会的なつながり
- 身体的な安全
- 公共交通機関へのアクセス
- 自己決定の自由

■ 世界ランキング

Source: Global Age Watch Index 2013



	総合順位		所得保障		健康状態		雇用と教育		(自立を) 支える環境	
	順位	評価	順位	評価	順位	評価	順位	評価	順位	評価
Sweden	1	89.9	8	87.0	7	74.8	5	74.3	5	83.3
Norway	2	89.8	3	91.4	13	73.5	1	85.4	22	76.2
Germany	3	89.3	9	86.1	6	75.2	6	73.7	6	82.8
Netherlands	4	88.2	4	90.9	18	71.3	11	66.2	1	85.6
Canada	5	88.0	26	81.1	2	80.3	9	69.6	9	82.3
Switzerland	6	87.9	28	80.6	1	81.3	12	66.1	4	84.0
New Zealand	7	84.5	43	72.7	3	78.7	7	71.1	13	80.2
USA	8	83.8	36	77.9	24	70.1	2	76.6	16	78.2
Iceland	9	83.4	15	84.7	9	74.2	18	58.5	7	82.5
Japan	10	83.1	27	80.7	5	76.9	10	66.2	19	77.2

	総合順位	所得保障	健康状態	雇用と教育	(自立を) 支える環境					
Austria	11	79.8	5	88.2	17	72.7	42	45.5	2	85.3
Ireland	12	79.5	24	81.9	14	73.1	32	49.4	3	84.0
United Kingdom	13	78.7	10	85.8	19	71.0	24	53.8	17	78.1
Australia	14	77.2	57	57.2	4	78.2	4	76.3	25	73.5
Finland	15	77.1	14	84.8	21	70.8	27	51.4	18	77.4
Luxembourg	16	76.7	1	98.2	16	72.7	55	38.4	11	81.2
Denmark	17	75.9	21	82.3	40	57.5	20	55.7	10	82.2
France	18	75.0	2	93.2	31	63.6	41	45.6	15	78.8
Chile	19	70.6	42	74.2	10	74.2	23	53.9	39	67.1
Slovenia	20	70.5	22	82.0	32	63.2	51	39.3	12	80.7
Israel	21	70.0	56	58.4	20	70.9	13	63.7	31	69.8
Spain	22	67.6	31	79.7	39	57.6	50	39.4	14	79.1
Uruguay	23	67.4	18	83.3	33	63.1	29	51.1	42	65.4
Belgium	24	67.0	41	74.4	23	70.2	45	41.9	29	70.3
Czech Republic	25	62.5	13	85.4	38	58.5	22	54.2	61	58.6
Argentina	26	61.7	11	85.7	37	59.4	34	48.7	59	59.4
Italy	27	61.4	6	88.0	15	73.0	62	33.1	53	61.9
Costa Rica	28	61.2	60	53.3	11	74.2	48	40.4	34	69.1
Estonia	29	60.2	35	78.0	58	44.5	8	70.7	62	58.4
Panama	30	59.1	55	59.2	25	69.8	46	41.8	48	63.4
Brazil	31	58.9	12	85.7	41	56.8	68	31.5	40	66.7
Ecuador	32	58.6	58	54.8	12	73.8	49	39.7	44	64.3
Mauritius	33	58.0	7	87.2	56	45.0	66	32.2	26	71.8
Portugal	34	57.8	17	83.4	29	67.4	76	24.6	37	67.4
China	35	57.4	66	46.2	51	52.0	40	45.7	24	74.6
Sri Lanka	36	57.3	67	44.9	45	55.1	37	47.9	27	71.3
Georgia	37	56.5	45	72.1	68	37.7	14	62.9	54	61.6
Malta	38	55.8	37	76.8	27	68.0	77	24.4	41	65.7
Albania	39	55.5	23	82.0	63	39.6	30	51.0	56	60.6
Hungary	40	54.7	19	83.2	57	45.0	39	47.0	65	57.8
Croatia	41	53.1	51	61.3	43	56.5	52	39.1	57	60.0
Thailand	42	53.0	59	53.3	46	55.0	78	22.7	8	82.4
Peru	43	53.0	65	46.7	30	64.2	31	50.0	67	57.5
Philippines	44	52.8	73	37.5	70	36.9	17	58.6	21	76.3
Latvia	45	52.5	33	79.2	62	40.6	15	62.3	77	53.3
Bolivia	46	52.0	48	67.0	60	41.3	25	52.8	64	57.8
Bulgaria	47	51.7	32	79.4	59	44.2	44	44.0	71	56.2
Romania	48	51.4	29	80.6	64	38.6	38	47.1	68	57.1
Slovakia	49	51.2	16	84.1	53	47.8	36	48.6	81	52.0
Lithuania	50	50.7	47	67.6	52	48.2	16	59.5	83	51.6
Armenia	51	50.5	40	73.3	75	33.0	3	76.5	80	52.6

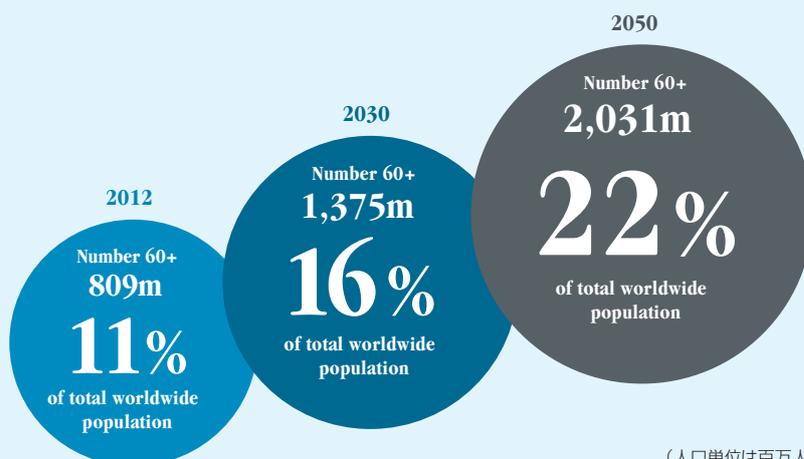
	総合順位	所得保障	健康状態	雇用と教育	(自立を) 支える環境					
Tajikistan	52	49.8	50	66.2	79	31.3	28	51.1	50	62.4
Vietnam	53	49.4	64	47.5	36	59.8	75	24.9	32	69.7
Colombia	54	49.3	68	44.9	26	69.5	63	32.7	58	59.5
Nicaragua	55	49.0	74	35.8	42	56.7	65	32.5	28	70.8
Mexico	56	48.9	70	41.0	35	60.7	58	36.0	51	62.0
Cyprus	57	48.2	80	22.0	22	70.7	47	40.6	30	70.2
Greece	58	47.4	25	81.2	47	54.1	61	33.4	82	51.6
El Salvador	59	46.7	72	38.9	34	62.7	72	28.2	46	64.1
Belarus	60	46.6	44	72.1	80	31.0	57	37.6	52	61.9
Venezuela	61	46.2	63	49.4	28	67.7	64	32.6	74	54.0
Poland	62	45.9	20	82.6	87	23.9	54	38.8	43	64.8
Kyrgyzstan	63	44.3	49	66.8	83	27.5	26	51.7	70	56.3
Serbia	64	42.4	52	60.7	54	47.1	71	28.7	73	54.0
South Africa	65	41.0	46	69.2	74	33.2	60	34.2	75	53.7
Ukraine	66	40.2	39	75.3	77	31.8	35	48.7	86	48.3
South Korea	67	39.9	90	8.7	8	74.5	19	56.3	35	68.3
Dominican Rep.	68	39.3	79	22.3	49	52.3	69	31.3	45	64.2
Ghana	69	39.2	81	21.3	67	38.3	33	48.8	49	63.1
Turkey	70	38.1	30	79.7	66	38.3	84	14.5	60	58.7
Indonesia	71	37.9	83	16.7	65	38.5	59	35.6	20	76.6
Paraguay	72	35.0	86	15.0	44	55.8	53	38.9	66	57.6
India	73	35.0	54	59.4	85	24.4	73	27.9	72	56.1
Mongolia	74	34.8	38	75.7	89	20.6	56	38.3	85	51.3
Guatemala	75	34.0	77	23.5	50	52.1	81	17.7	47	63.5
Moldova	76	33.8	53	59.9	71	35.1	43	44.7	89	45.0
Nepal	77	33.7	62	49.9	82	29.4	79	22.0	69	56.5
Russia	78	30.8	69	43.0	78	31.3	21	55.7	90	44.4
Lao PDR	79	29.4	76	24.1	81	29.9	82	15.8	33	69.2
Cambodia	80	27.3	85	16.4	88	23.2	80	21.2	23	75.0
Morocco	81	26.6	71	39.0	76	31.8	83	14.7	84	51.4
Honduras	82	25.8	88	9.6	48	53.9	74	27.8	78	53.2
Montenegro	83	25.5	34	78.1	55	45.9	89	6.7	87	47.4
West Bank & Gaza	84	24.5	78	22.9	72	34.1	86	10.2	55	60.6
Nigeria	85	24.0	87	14.2	84	26.4	70	30.5	76	53.6
Malawi	86	17.8	89	9.5	86	24.1	85	13.9	63	57.8
Rwanda	87	16.6	82	19.0	90	19.3	90	5.3	38	67.2
Jordan	88	11.4	61	52.7	61	40.9	91	1.6	36	68.0
Pakistan	89	8.3	84	16.7	69	37.7	67	3.2	91	39.8
Tanzania	90	4.6	91	2.1	73	33.7	88	7.3	79	52.9
Afghanistan	91	3.3	75	24.2	91	7.6	87	9.4	88	46.2

Source: Global Age Watch Index 2013

■ 世界における60歳以上人口とその比率の推移 (2012年、2030年、2050年)

Number and proportion of people aged 60-plus worldwide in 2012, 2030 and 2050

Source: UNDESA Population Division, Population Ageing and Development 2012, Wall Chart, 2012; UNDESA Population Division, World Population Prospects: the 2012 Revision, 2013



(人口単位は百万人)

■ 地域別と国別による60歳以上人口比率の推移

Percentage of population aged 60-plus by region in 2012, 2030 and 2050

Africa	2012	2030	2050
Mauritius	11.9	22.8	29.3
Morocco	8.6	13.8	24.2
South Africa	7.8	10.8	14.8
Ghana	6.0	6.8	11.9
Nigeria	5.3	4.6	7.4
Tanzania	4.9	5.2	6.4
Malawi	4.9	4.5	5.1
Rwanda	4.4	5.6	8.6

Asia	2012	2030	2050
Japan	31.6	37.5	41.5
Georgia	19.7	27.0	35.4
South Korea	16.7	31.1	38.9
Israel	15.5	18.4	22.5
Armenia	15.1	22.2	30.2
Thailand	13.7	27.0	31.8
China	13.3	23.8	33.9
Sri Lanka	12.9	19.7	27.4
Turkey	9.6	17.3	26.0
Vietnam	8.9	18.3	30.8
Indonesia	8.5	14.1	25.5
India	8.0	12.3	19.1
Cambodia	6.6	12.8	19.0
Pakistan	6.5	8.9	15.8
Nepal	6.4	11.3	16.9
Kyrgyzstan	6.4	10.5	17.3
Mongolia	6.1	11.5	20.5
Philippines	6.1	9.6	15.3
Lao PDR	6.1	8.3	18.9
Jordan	5.9	9.2	18.2
Tajikistan	5.0	8.1	14.0
West Bank and Gaza	4.5	6.6	10.5
Afghanistan	3.8	5.1	6.7

Europe	2012	2030	2050
Italy	27.0	34.6	38.4
Germany	26.7	36.4	37.5
Finland	25.8	31.1	31.5
Sweden	25.4	28.0	30.6
Bulgaria	25.0	29.9	36.3
Greece	24.7	32.4	36.0
Portugal	24.4	32.6	40.4
Croatia	24.1	31.2	34.5
Belgium	23.9	30.0	30.9
Denmark	23.9	28.5	29.7
France	23.7	29.2	30.5
Austria	23.6	31.5	36.5
Slovenia	23.5	31.7	36.7
Switzerland	23.4	28.4	37.1
Hungary	23.4	26.7	32.2
Estonia	23.2	27.6	32.4
Latvia	23.2	26.9	34.2
United Kingdom	23.0	28.2	29.6
Czech Republic	22.9	27.1	34.2
Netherlands	22.8	31.7	31.9
Spain	22.7	31.6	38.3
Malta	22.7	30.9	36.7
Norway	21.7	26.1	29.0
Lithuania	21.3	25.8	32.2
Ukraine	21.1	24.9	32.1
Romania	21.0	26.7	36.0
Serbia	20.5	26.8	32.2
Poland	20.4	27.6	35.3
Luxembourg	19.1	24.5	29.6
Belarus	18.9	24.8	32.2
Russia	18.6	23.3	31.2
Montenegro	18.4	24.7	30.8
Slovakia	18.3	25.8	34.9
Iceland	17.5	24.4	28.8
Ireland	17.1	23.1	28.7
Cyprus	16.9	23.4	32.5
Moldova	16.8	22.6	33.8
Albania	13.7	23.9	33.8

Latin America and the Caribbean	2012	2030	2050
Uruguay	18.5	22.1	27.4
Argentina	15.0	18.2	25.0
Chile	13.8	23.5	30.3
Brazil	10.9	18.7	29.0
Costa Rica	10.1	19.3	29.8
Panama	10.1	16.0	23.2
El Salvador	9.7	13.2	21.2
Mexico	9.5	16.0	25.8
Ecuador	9.4	14.7	23.7
Dominican Republic	9.3	14.7	22.2
Colombia	9.2	16.4	23.7
Peru	9.2	14.5	22.7
Venezuela	9.1	14.9	22.3
Paraguay	8.0	11.2	17.5
Bolivia	7.3	9.6	14.8
Nicaragua	6.6	11.5	21.2
Guatemala	6.5	7.6	11.7
Honduras	6.4	9.7	17.0

Northern America and Oceania	2012	2030	2050
Canada	20.8	28.5	31.0
Australia	19.6	24.6	28.9
United States	19.1	25.6	26.6
New Zealand	18.9	25.9	28.6

Source: UNDESA Population Division, Population Ageing and Development 2012, Wall Chart, 2012; UNDESA Population Division, World Population Prospects: the 2012 Revision, 2013